

こま 困ったときはどうしたらいいの？

いじめられる

自分の話を
聞いてもらえない

たたかれる

プライバシーが
守られていない

「こまったな」「つらいな」と思ったときは、お父さん、お母さん、学校の先生など、まわりの大人に教えてください。

また、川崎町にはこどもの権利を守るための相談窓口があります。

こどもの権利救済委員や相談員が話を聞き、あなたにとって最もよいことを一緒に考え、見守ったり手助けをします。あなたの秘密は守ります。

こ 子どもの権利救済委員

条例に基づいて、活動します。

まずは子育て支援センターにご相談ください。

相談 救済申立て

審議(救済委員)

調査

勧告・要請

公表

助言・支援(相談員)

関係機関と連携協力

こどもの権利の救済・回復



川崎町地域子育て支援センター「すこやか」

相談のしかた ①電話する ☎0947-72-5800

②支援センター「すこやか」に行って、お話をします。

住所：〒827-0004 川崎町大字田原804番地

相談の受付時間 月～金 8時30分～17時(※祝日、年末年始はお休み)

ひとり悩まないで、いつでも安心して相談してください！



こども・子育てにやさしい「まちづくり」



川

崎

町



子どもの権利条例

こどもの
けんりじょうれい

平成30年(2018年)4月1日施行



あなたは世界にたった一人の大切な存在です。

川崎町では、こどもたちが自分のことを大切にし、

いきいきと育つことのできる町にするために

「川崎町子どもの権利条例」という約束ごとを作りました。

この条例をきっかけにこどもの権利についてみんなで考えてみましょう。

※この条例における「子ども」とは町内に住む18歳未満の人のことをいいます。

令和7年(2025年)10月発行

川崎町

川崎町
子どもの権利条例





こどもの権利って なに??

権利とはすべての人が生まれたときから平等に持っている大切なもの。
あなたは1人の人間として、大切にされ、幸せに成長していく「こどもの権利」をもっています。
権利とわがまは違います。あなたに権利があるように、まわりのお友だち一人一人にも権利があります。自分の権利もほかの人の権利もどちらも大切にしなければなりません。

川崎町子どもの権利条例 4つの「こどもにとって大事な権利」

1 安心して生きる権利

- いのちが守られます。
- 愛情と理解をもって大切に育てられます。
- 健康を守るために、病気のときは医者さんにみてもらえます。
- 平和で安全な環境の中で生活できます。



2 豊かに育つ権利

- 学ぶことができます。
- 遊ぶことができます。
- いろいろな文化、芸術、スポーツに触れることができます。
- 自分の考えを持つことができます。
- それぞれのいいところを認め合います。
- 成長に応じて、まわりの人から指導や支援(手助け)を受けることができます。



3 社会に参加し意見を表明する権利

- 自分の考えや思いを言うことができ、その意見は大切にされます。
- 友達や仲間を作り、集まることができます。
- 社会に参加し、あなたの意見が活かされるチャンスがあります。
- 自分の考えや思いを言うために、まわりの人に手伝ってもらえます。



4 守られる権利

- こどもの権利が守られていないときは逃げることができます。
- こどもが暴力を受けないように、こどもを守ります。
- 差別を受けたり、仲間はずれにされません。
- 自分の情報(プライバシー)は守られます。
- こまった時はいつでも相談でき、助けてもらえます。



大人の役割

大人はみんなで協力して、
こどもの権利を
守ります。



お父さんやお母さんなどこどもを育てる人

保護者はこどもの成長および発達について
責任を持ち、こどもにとって一番よい方法を考
えて大切に育てます。
※保護者とは、親または親の代わりにこどもを養育す
る立場にある者。



地域の人たち

- こどもが安心して暮らすことので
きる環境を作ります。
- 虐待からこどもを守るため、いろいろ
な人と協力します。



会社などの人たち

こどもを育てる大人が、仕事をし
ながら、安心して子育てができるよ
うにします。



保育園、学校などの人たち

- じぶんと周りの人の権利の大切さを学べるようにします。
- 行事やきまりなどについて、こどもの考えや
気持ちを言えるようにします。
- 虐待やいじめ等からこどもを守るために
いろいろな人と協力します。



まち

- こどもにやさしいまちにするために、こ
どものための計画を立て、大人が力を合
わせていろいろなことに取り組みます。
- たくさんの人にこどもの権利を知って
もらえるようにします。
- まちづくりなどにこどもが参加し、意見
が言えるチャンスを作ります。
- 困っているこどもがいたら、安心して
らせるように、ほかの大人と協力します。